

主な関連事業

会議期間中、市内の複数会場で政府機関、NPO、NGO、大学、地域団体など、国内外の多様な団体による防災や復興に関する取り組みを、セミナーや展示などにより一般公開で紹介します。

東日本大震災の経験と教訓を世界へ

東日本大震災総合フォーラム

日本政府および実行委員会主催により、より良い復興や新たな防災の在り方を展望するシンポジウムを開催します。

- 会場—東北大学川内萩ホール
- テーマ—災害時医療、人づくりと防災教育、災害廃棄物対策など

※事前申し込みが必要です。詳しくは15ページをご覧ください

世界各国の防災対策や最先端技術などに触れてみよう

防災・復興に関する展示

◆防災産業展

災害時に役立つだけでなく、普段の生活をより快適で環境に優しいものとする最先端の技術・製品を展示。

- 会場—夢メッセみやぎ
- テーマ—災害対策、災害時の業務継続計画（BCP）、レスキューロボットなど

◆東北防災・復興パビリオン

復興に向けて歩む東北の姿を大型展示などにより発信。

- 会場—せんだいメディアテーク
- ◆世界の防災展
国内外の出展者が、防災・減災・復興の取り組みを紹介。
- 会場—せんだいメディアテーク、仙台市民会館ほか



▲東北防災・復興パビリオン会場イメージ

- 本体会議会場
- 総合フォーラム会場
- シンポジウム・セミナー・屋内展示会場
- 屋外展示会場

防災や復興に関する見聞が集結

シンポジウム・セミナー

国内外の300以上の団体が、防災・減災、復旧・復興に関するシンポジウムを開催します。

- 会場—東北大学川内北キャンパス、仙台市民会館、せんだいメディアテーク、東京エレクトロンホール宮城、TKPガーデンシティ仙台勾当台、シルバーセンター、情報・産業プラザなど

※事前申し込みが必要な場合があります。詳しくはガイドブック（下記参照）などをご覧ください

「市民協働」「女性」に焦点を当てたセミナーなどが集まるテーマ館もオープン

◆「市民協働と防災」テーマ館—市民活動サポートセンター
さまざまな市民団体による復興や防災に関する取り組み、地域・団体間で生まれた連携事例などを紹介します。

◆「女性と防災」テーマ館—エル・パーク仙台
男女共同参画の視点での災害に強いまちづくりに向けた取り組みを発信するシンポジウムを開催します。

詳細はガイドブックで

各会場の催しの詳細を掲載したガイドブックを2月上旬から配布します。

- 配布場所—市役所本庁舎1階市民のへや・市政情報センター、区役所総合案内、総合支所、宮城野区・若林区・太白区情報センター、各市民センター、市立図書館など

ウェブサイトでも情報を発信中

第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会のホームページ <http://www.bosai-sendai.jp/> では、世界会議の概要やパブリック・フォーラムなどの関連イベントの情報を随時更新しています。



この特集のお問い合わせは、国連防災世界会議準備室 ☎214・8098
※14・15ページにも関連情報を掲載しています



会場付近の通りや駅、空港では、フラッグや横断幕を掲出し、歓迎ムードを盛り上げます



本体会議の会場となる仙台国際センター



▲会議中に使用されるタンブラーを子どもたちがデザイン

3月14日(土)〜18日(水)の5日間開催される第3回国連防災世界会議。開催まで1カ月に迫り、パブリック・フォーラムの内容が固まるなど、準備も最終段階に入りました。市内では会議を盛り上げようと、さまざまな企画が進行中です。

市内の小・中学校では、子どもたちが絵やメッセージを描いたタンブラーを、会議期間中に参加者のマイカップとして使用していただく企画「タンブラープロジェクト」が進んでいます。ごみを減らして環境に配慮しつつ、3・11から未来に向けて力強く歩む仙台の子どもたちの思いも届けようというこのプロジェクト。全部で4千個製作する計画です。1月21日、上杉山通小学校では、6年生の児童22人がタンブラー作りに取り組みました。



▲「復興に向けて進む姿を伝えたい」と思いを込めて制作しました

国連防災世界会議では、193の国と地域から、本体会議に5千人以上、パブリック・フォーラムに延べ4万人以上の参加が見込まれています。1カ月後の本番に向け、各方面で参加者をおもてなしする準備が進められています。
子どもたちと世界をつなぐタンブラープロジェクト

▼おもてなしセミナー。対応の注意点や心構えのほか、外国人観光客に人気の日本食やお土産の紹介なども行います



▲和食フェアで提供する料理のイメージ。実施店舗など、詳しくはホームページ <http://www.city.sendai.jp/shizen/nogyo/> で紹介します



また、市内の30を超える飲食店では、日本語・英語・中国語・韓国語・タイ語の5カ国語で表記したメニュー表や、指さし会話シートを設置。そのほか、市が開催する外国人観光客のおもてなしセミナーにも多くの事業者が参加し、訪れた方に仙台の食を気持ちよく楽しんでいただけるよう取り組んでいます。

食を通しておもてなし

3月5日から22日まで、市内5つの飲食店では、市民の方はもちろん、国内外から訪れた方に仙台産農産物を和食料理で味わってもらおうと「仙台産農産物食フェア」が開催されます。